

[Blank box for name]

① つぎの文章を読んで、問題に答えましょう。

木のみきにとまったはずのセミや、草のしげみに下りたはずのバッタを、ふと見うしなうことがあります。
セミやバッタは、木のみきや草の色と見分けにくい色をしています。まわりの色と見分けにくい体の色は、てきから身をかくすのに役立ちます。身をかくすのに役立つ色のことをほご色といっています。こん虫は、ほご色によってどのようか。てきから身をかくしているのでしょうか。

① この文章は、いくつのだん落に分かれていますか。正しいものの()に○を書きましょう。

- ア () 二つ
イ () 三つ
ウ () 四つ

※ 文章の中にある、小さな内よりのまどまりを、だん落といっています。文章の書きだしが一字下がっているところが、だん落のはじまりになります。

② 身をかくすのに役立つ色のことをなんといいいますか。 [] に書きましょう。

答え []

③ 身をかくすのに役立つ色をしているいきものを、文章から二つ見つけて、 [] に書きましょう。

答え [] と

④ つぎのことをばをローマ字で書きましょう。

セミ ↓ []

バッタ ↓ []

※ ヒント つぎのローマ字をつかうよ。

a b e i m s t

② それぞれの文の主語と述語は、どれですか。 [] にア、エのどれかをかきましよう。

① 姉は 日曜日に 服を 買った。

主語: [] 述語: []

② かわいい 赤ちゃんが よちよち 歩く。

主語: [] 述語: []

③ それぞれの文の、くわしく表す言葉はどれですか。二つずつさがして、 [] にア、エのどれかをかきましよう。

① 強い 風が グラウンドに ふいた。

くわしく表す言葉は [] と []

② 川に 大きな 魚が いた。

くわしく表す言葉は [] と []

④ つぎの [] のこそあど言葉がさしている言葉を、書きぬきましよう。

① きつねが、ぼうしをかぶっていました。えっちゃん、きつねにいいました。「それ、あたしのよ」

さしている言葉: []

② ぼうしは、はたけにとんでいきました。えっちゃんは、いそいでそこへおかつて走っていきました。

さしている言葉: []

⑤ [] に動物を書いて慣用句にしましよう。

① [] の手もかりたい。

② [] が合う。